

推薦 BulletinNo,56

公益社団法人日本ライフル射撃協会
推薦委員会

■空気拳銃新規推薦申請時の特例

空気拳銃の推薦枠500人を有効活用する観点から2024年1月10日以降、以下の条件で特例を認めることがあります。

特例を認めるにあたり、放銃していることが条件になります。

放銃されたものの特例が認められない事もあり得ますので事前に必ず推薦委員会にご相談願います。

1. 病気・怪我等で競技会参加が出来ないこと。
2. 特例申請時点で許可期間が概ね1年以上残っていること。
3. 病気・怪我につき医師の診断書を提出すること。
4. 放銃届を提出すること（特例申請時点で空気拳銃を所持していないこと。放銃前に許可期間確認の為許可証のコピーを取っておくこと）。

以上1. から4. の条件を全て満たした方につき、加盟団体担当者は日本ライフル射撃協会推薦委員会へ、ニチラネット推薦専用掲示板より必要書類を添付して申請し、推薦委員会で審議し承認された場合、病気・怪我等から回復後に以下の通り新規推薦申請の順位を優先する事と致します。

1. 病気、怪我から回復された時には空気拳銃推薦の申請をニチラネット（新規）空気拳銃/最初の推薦から特例申請承認後にうける特例番号をメモ欄より申告してください。
2. 手数料は通常の再推薦と同額です。
3. 推薦の優先順位は①ナショナルチーム②国体女子③国際ジュニア④特例を認められた方の順です。

■大口徑ライフル銃の推薦基準

大口徑は競技規則のフリー・スタンダード・ハンティングのカテゴリーの基準で審査していますし、今後この基準で審査しますので、フリー・スタンダードライフルはマイクロサイト・フロントサイトが標準となり、そのうえでスコープの取り付けは可能とします。